

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 安曇地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 500,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：安曇地区くらしのカレンダー作成事業				
実施主体	安曇地区町会連合会			
実施日（期間）	令和7年10月～令和8年3月			
実施場所	安曇地区一円			
事業概要	安曇地区の各町会・学校・保育園・公民館・観光イベントなどの行事予定及びごみの収集日など地域住民に必要な情報を掲載した、くらしのカレンダーを作成して安曇地区の住民や関係機関に配布するもの ・発行部数800部			
地域づくりの成果・効果	地域の行事を掲載して住民に周知することができ、地域活動への参加意識の向上に繋がり、また、転入者に配布することで町会加入の促進にも効果が出ている。			
課題	年々、印刷製本費が高騰しているため、今後も情報量はそのままに継続して発行できるよう発行部数の調整や紙面の記載方法を工夫する必要がある。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	186,120円	182,927円	2,928円	265円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額
b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額
c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：安曇地区文化祭				
実施主体	安曇地区文化祭実行委員会			
実施日（期間）	令和7年10月26日			
実施場所	安曇基幹集落センター、安曇体育館			
事業概要	保育園児から小中学生や地域の住民を対象に地域文化や歴史の継承及び住民同士の交流を目的に作品展示・ワークショップやステージプログラムによる活動成果を発表する場とした。			
地域づくりの成果・効果	作品展示やステージ発表を通じて、地域住民の自己啓発や創作活動に対する動機付けや地域文化の学習の一助となった。 また、文化祭を契機に安曇地区の魅力を地域住民が再認識することができた。			
課題	今年度の文化祭は、地域づくり推進交付金を活用して、スタッフ用の無線機			

	などの備品を購入し、円滑な文化祭運営を行うことができたが備品等の保守費用の財源確保が課題となる。広大な区域に居住する住民が一堂に会する貴重な機会であり、将来にわたり継続できるよう、至近及び事業内容の効果的な運用が求められる。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	170,000円	170,000円	0円	0円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	356,120円	352,927円	2,928円	265円

A：各事業のaの合計額
 B：各事業のbの合計額
 C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：安曇地区災害対策基金及び松崎町姉妹都市締結５０周年記念資金積立事業					
積立目的	・地震、大雨、大雪等の災害時における必要物資購入や除雪費用等のための積立 ・交流都市の松崎町との５０周年記念事業の実施に向けた積立				
積立期間	平成２７年度から令和１２年度まで（本年度１１年目）				
積立ての目標金額	1,000,000円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計
	前年度までの積立経過	6年目まで	400,000円	0円	400,000円
		7年目	80,000円	0円	480,000円
		8年目	80,000円	0円	560,000円
		9年目	80,000円	0円	640,000円
		10年目	30,000円	0円	670,000円
	本年度の積立実績		D 60,000円	E 0円	F 730,000円
	合計額		730,000円	0円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日（期間）					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E + G	財 源 内 訳			
		E		G	
充当後の積立事業取扱方針					

	積立継続（ 年度まで） ・ 廃止
	廃止する場合は、積立金残高（F）の処理方法

E：充当した積立金の額
G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I－A－D	金 87,073円
-------	----------------

[参考]繰越上限額＝I×2／10